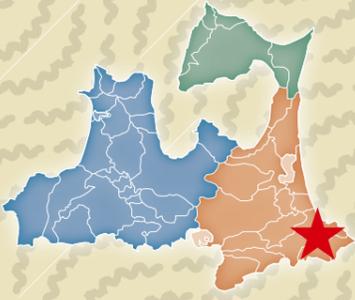


史跡 是川石器時代遺跡 (八戸市)



中居遺跡、一王寺遺跡、堀田遺跡の総称です。縄文時代晩期の弓、櫛、腕輪、藍胎漆器など、赤漆塗りの木製品類が、良好な保存状態で出土しています。これらは、工芸的にも優れ、縄文時代の漆芸技術を代表する遺物です。



是川石器時代遺跡全景

遺跡を南から撮影。上部に見える太平洋までは直線で7kmほどのところに位置します。



中居遺跡捨て場

中居遺跡の低湿地では、縄文時代晩期の捨て場が検出されました。捨て場にはトチノキの実やクルミの殻が厚く堆積しており、その中から植物質の道具が良好な状態で出土しました。

木胎漆器

中居遺跡の捨て場から出土した木製の鉢。トチノキをくりぬき、土器と同じ文様を彫り込み、黒色漆の上に赤色漆を重ねて塗っています。



縄文時代晩期の土器

縄文時代晩期の亀ヶ岡式土器。皿、台付鉢、壺、香炉、注口土器など、いずれも美しい文様が彫り込まれ、丁寧に磨かれています。



八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館

八戸市内の遺跡の保存や活用、縄文文化を伝える施設です。国宝や重要文化財を常設展示しています。

これかわ縄文まつり



縄文文化をみる・学ぶ・あそぶ楽しさがいっぱいのイベントです。毎年8月に開催しています。



中居遺跡 土偶

顔面が赤く彩られ髪を結っているようです。



土坑墓と赤染人骨

中居遺跡の台地部分からは、竪穴住居や墓坑が検出されました。墓は小判形に掘られており、赤色顔料で染まった縄文人骨が見つかりました。



漆塗り製品

中居遺跡の低湿地捨て場からは、漆液を貯めた土器や、ゴミを漉し取った布(編布)など、集落内で漆器づくりが行われたことを示す道具が出土しています。

DATA 基本情報

見学施設 八戸市埋蔵文化財センター是川縄文館
〒031-0023 八戸市是川横山1

開館時間 9:00～17:00 (観覧受付は16:30まで)

休館日 月曜日(第一月曜日、祝日・振替休日を除く)、
祝日・振替休日の翌日(土・日曜日、祝日を除く)、
年末年始

見学料金 大人250円、高校・大学生150円、
小・中学生50円

詳しい情報はこちらから→

